

授業科目名称 : ツアープランニング

授業コード : 55603

授業科目英文名称 : Tour Planning

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分	
後期	2	2	選択	
担当教員				
竹田 文雄（実務経験のある教員）				
展開方法	講義			
ナンバリング	CB219			
添付ファイル				
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標		評価手段・方法	評価比率
専門力				
情報収集、分析力	・ ツアープランニングの各実務の概要を認識、理解して説明できる。 ・ いつ、なにを、どのセグメントに、どのような形で、どのような価格でツアー商品を造成するのか？ を考察できるようになる。		・ 授業内試験 ・ 授業内小課題	30% 30%
コミュニケーション力	学内外での授業への積極的な参画、およびアクティブラーニングの実践ができる。		・ 授業参画度	20%
協働・課題解決力	自分自身のアイデアをどの様に具現化できるか？ 旅行商品素材の魅力をどの様に切り出して商品化すれば、お客さまに訴求できるのか？ について意見を発出できるようになる。		・ 授業内試験	20%
多様性理解力				
出席			受験要件	
合計			100%	

授業のねらい	2010年代中盤頃から、旅行業（旅行事業）をとりまく社会・市場・環境には急速な変化が見られ始め、従来型パッケージツアーはすべてDP（ダイナミックパッケージ）にシフトすると予見されていたが、COVID-19が収束しつつあるいま、旅行業はさらなる変化の時期を迎えることとなった。国内旅行では需要が回復しつつあり、従来型添乗員同行パッケージツアーも復活してきたが、海外旅行の需要の戻りは低調である。このような状況を踏まえた上で本講義では、さらなる変化の時期を迎える従来型パッケージツアーの生命線とも言える「周遊型旅程の構築」、すなわちツアープランニングの手法を学ぶことによって、学生の「考える力」を伸ばし「組み立てる感覚」を醸成していく。		
アクティブラーニングの類型	②⑨		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	授業内試験 60点（授業の理解度。ツアープラン2課題の完成度。） 授業内小課題 20点（授業の理解度及び課題解決力の達成度。ポートフォリオを使用して適宜実施。） 授業参画度 20点（授業課題への取り組み姿勢。質疑等の有無とその回数。） 諸々のフィードバックは、ポートフォリオを用いて、または授業時間内に適宜実施していく。		
授業概要	担当教員の旅行業実務経験と知見を踏まえての、旅行実務をトレースする授業である。ツアープランニング（旅行商品の企画・造成）に必要な基礎知識と、旅行商品が創出されるプロセスについて、海外旅行商品を例として実務の段取りを踏まえた講義の形式とする。そして履修学生自身が自身の卒業旅行をイメージしたツアープランの完成を到達目標と設定し、その完成度を評価の主軸とする。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分。		
教科書・参考書・指定図書	教科書：特に定めない（レジュメをポートフォリオに掲載する）。 参考書：『旅行企画のつくりかた』 小林天心 虹有社 指定図書：『旅の賢人たちがつくったヨーロッパ旅行最強ナビ』 山田 静 & 久保田由希編 辰巳出版		
授業外における学修及び学生に期待すること	資料（レジュメ）は、ポートフォリオに格納するので必要に応じて適宜参照すること。担当教員からの配布は行わない。また授業中に投影するスライドは、ポートフォリオには掲載しない。毎回の授業ではメモをとることを習慣づけること。 なお上記の通り、ツアープランニング業務の各プロセス、施設素材・観光素材の選択手法、販路の差異・特性などを確認していく形式の講義であるため、旅行会社の実務に関心を持つ学生の受講を歓迎する。 他の学生に迷惑をかけないように受講すること。		
授業計画	回	テーマ	授業の内容
	1	旅行商品の組成とプランニングの役割	授業の進め方のガイダンス。 ツアープランナーに求められるもの。
	2	ツアープランニングの基礎知識（1）	デスティネーションの「選択」と組み合わせについて。

	3	ツアープランニングの基礎知識 (2)	デスティネーションと「素材」との組み合わせについて。	予：人気の出そうな旅行を考えて書き出す。 復：商品企画要点再確認。
	4	ツアープランニングの基礎知識 (3)	素材選定と料金設定の調整について。 旅行素材の原価について。 旅行代金の設定手法について。	予：地上費・原価とは何かを考える。 復：コスト管理の重要性を再確認。
	5	旅行商品の構成要素 (1)	旅行商品の素材 (ホテル・運送機関など) の概要について。	予：旅行素材には何があるかを書き出す。 復：素材定義の再確認。
	6	旅行商品の構成要素 (2)	旅行商品の素材 (ホテル・運送機関など) の概要について。 (ゲストスピーカー・実務家の招聘を予定。)	予：旅行素材の再確認。 復：ゲストスピーカーの講義内容についてのレポート作成。
	7	旅行商品の構成要素 (3)	ツアーコンダクター同行ツアーとノンエスコートツアーの違いについて。	予：ツアーコンダクターの役割を考えてくる。 復：役割の再確認。
	8	旅行商品の構成要素 (4)	旅行商品の素材 (観光・イベント) と関わる人 (添乗員・ガイド) について。 (ゲストスピーカー・実務家の招聘を予定。)	予：旅行素材の再確認。 復：ゲストスピーカーの講義内容についてのレポート作成。
	9	・レビュー ・ツアープランニング実践 (1)	・前半第8回講義までのレビュー。 ・ツアープラン作成についての全体的な概説。	予：いま行ってみたい場所をイメージする。 復：気づきの取りまとめ。
	10	ツアープランニング実践 (2)	①ツアープランの作成「日本国内旅行・4日間編」。 ツアープラン作成概要の説明。	予：ツアープランの概要をイメージする。 復：ツアープランの概要を確定する。
	11	ツアープランニング実践 (3)	①ツアープランの作成「日本国内旅行・4日間編」。 ツアープランの完成と提出。	予：ツアープランを作成する。 復：ツアープランを提出した際の気づきをまとめておく。
	12	旅行商品の販売について	旅行代理店による販売とその他の販売方法について。 WEBによる旅行商品販売の方法、WEB専売商品/ダイナミックパッケージ (DP) 商品の特性とプランニングについて。	予：販売形態について考えてくる。 復：WEB販売の特性の再確認。
	13	ツアープランニング実践 (4)	①ツアープランの作成「日本国内旅行・4日間編」。 ツアープランについての講評。 ②ツアープランの作成「日本発海外旅行・8日間編」。 ツアープラン作成概要の説明。	予：自身のツアープランをレビューする。 復：気づきの取りまとめ。
	14	ツアープランニング実践 (5)	②ツアープランの作成「日本発海外旅行・8日間編」。 日程、移動手段、その他留意点の確認。	予：行程のイメージ出し。 復：作成資料のレビュー。
	15	ツアープランニング実践 (6)	②ツアープランの作成「日本発海外旅行・8日間編」。 ツアープランの完成と提出。 ・全体総括。	予：14週までの授業全体のレビュー。